

平成 27 年度

第 3 回磐田市協働のまちづくり推進委員会 会議録

日 時	平成 28 年 2 月 12 日 ( 金 ) 午後 2 時 30 分 ~ 3 時 30 分
場 所	磐田市役所西庁舎 3 階 特別会議室
出席委員	河井孝仁委員、神谷五郎委員、三輪浜子委員、 藤原孝一委員、小畑利栄委員、堀内章伸委員、 山下貢史委員、山下和也委員、鈴木光子委員、 袴田浩之委員
事務局	市民部市民活動推進課長、グループ長、主任、副主任
オブザーバー	磐田市市民活動センター長

[ 議題 ]

- 1 平成 28 年度協働のまちづくり推進事業計画
- 2 市民活動フェスタ 2016
- 3 意見交換

資料	平成 28 年度協働のまちづくり推進事業計画 ( 案 )
資料	平成 28 年度協働のまちづくり提案事業要綱
資料	市民活動フェスタ ( チラシ )

[ 会議概要 ]

市民活動推進課長 定刻となりました。ただいまから平成 27 年度第 3 回協働のまちづくり推進委員会を開会いたします。

委員の方がすべてご出席となり、この会が成立していることを報告いたします。

では、最初に河井委員長からご挨拶をいただきたいと思います。委員長、よろしくお願いします。

委員長 では、てきぱきと議事を進めていきたいと思います。ご協力をお願いしたい。

ここから、議事に入ってよろしいか。

市民活動推進課長 よろしく申し上げます。

委員長 では、議題 1 「平成 28 年度協働のまちづくり推進事業計画（案）」について。事務局より説明を。

事務局

事務局

「平成 28 年度協働のまちづくり推進事業計画（案）」説明

【概要】協働推進の役割として、行政は、市民、市民活動団体、企業に対して、情報提供や活動に必要なスキルアップを支援、団体同士のマッチングを行い、お互いが協働して地域課題解決のために活動できるようにすることと考え、計画（案）を作成

委員長 事務局から説明のあった概要説明について、ご質問、ご意見がありましたら、お願いしたい。

委員

2 点あります。

1 点目は、3 ページ目の相談窓口の充実とあるが、実際に困りごとが無いと相談窓口にこないと思う。現状として相談の目標達成の基準はあったのか。件数など。

事務局

件数の推移について今資料がないが、やはり困って窓口にお見えになるため、相談内容が満足できるものであるように、またその支援ができるように市民活動推進課も市民活動センターも心がけて相談を受けている。

委員	<p>今後、心がけていく中でワンストップでいろいろな部署とつなげていただく機能が必要と考える。困ったときにどこへ行けばよいか、ということが分かれば良いと感じた。</p> <p>2点目は、6ページの件。説明の中で市内46NPO法人があり、市内NPO法人のレベルアップを支援していきたいとあったが、具体的にはどんなことか。</p>
事務局	<p>具体的には決めていないが、他の地域では団体の活動に直接関係している会計処理の方法の講座が開催されている。</p> <p>現在、事業報告の提出などでほぼこの団体も窓口にお見えいただいている。その時、話を伺うと、平成24年度NPO法の改正により、定款部分の改正が必要となっているが、法改正の内容が反映されていない法人がかなりあることが分かった。直接お話をさせていただく中で、今年一年と通して法人のレベルアップの点では、一部関わりが持てたと感じている。</p> <p>今後は、財務部分が弱い法人や、マイナンバーの導入に関わる部分を含めて次年度は県のNPO活動センターと連携をしながら、講座などを実施していけたらと考えている。</p>
委員	<p>講座という視点、行政がやるべき内容と市民団体がやるべき内容もそうだが、その団体が本当に困っていることを吸い上げてもらいながら、法人に必要なレベルアップを具体的な施策に入れてもらえたら良いと感じた。</p>
委員長	<p>委員のご意見、しっかり実現できるよう受けとめてほしい。</p>
委員	<p>前回欠席をしたため、前回内容の中間報告について見せていただいた内容について意見を述べたい。</p> <p>相談について、先程の説明では相談が増えていると報告があったが、相談はもっと多いのではないかと感じた。磐田市の相談件数がこの程度で良いのか、という点がひとつ。そして、相談に見えた方を、連携を持って関連づけていくという点は報告を見る限りではつながっていると感じた。報告書では、上手につなげている印象を持った。</p>
事務局	<p>市民活動センターへの相談は、昨年度111件、今年度12月末75件、過去150件を超える場合があった。平成21、22年度は100件程度で推移をしている。相談自体の件数が多ければ良いのかという問題もあるが、</p>

相談の内容、NPO 法人の活動に関わる複雑な内容であったのか、単純な内容であったのか、単純に件数だけでは推し量れないと感じている。その意味で、相談にこられた方がどれだけ満足しているかを目標達成度の数値として挙げている。相談内容は年々変わってきているが、前回市民活動センター長からも話があったが、全体のレベルが上がってきている状況となっている。

委員長

その他、ご質問、ご意見がありましたら。

委員

地域づくり協議会が立ち上がり、交流センターも設置された。そことの関係で言うと、市役所の窓口は自治振興課になる。市民活動推進課は、交流センターに対して情報発信や人材育成を行っていくということになっているが、自治振興課や地域づくり協議会との関係についての流れを図式で分かるようなものを作成して進めているのか。

情報発信について、市民活動推進課が独自で交流センターへ行うのか、地域づくり協議会経由で行うのか、その方法によって地域づくり協議会の活動の仕方が変わってきてしまう。地域づくり協議会で年間計画を立てた後に、市民活動推進課から交流センターに対して、様々なやりたい事を言われてしまうと地域づくり協議会の年間計画が狂ったり調整が必要になったりしてしまうのではないかと心配する。

事務局

今年度、交流センターの設置に伴い、まず市民活動推進課が行ってきたのは、講座の企画を行う交流センター職員との意見交換である。

それは、講座の企画を行う職員に対し、今後の地域づくりに必要とされる情報を提供し、講座の企画を通じて連携を深めるためである。交流センターとの関係づくりからは始めている段階なので、いきなり地域づくり協議会に講座をおろすようなことはないし、提案等もできる段階ではない。

委員

地域づくり協議会の組織の中に市民活動推進課が入りこみ、講座については、そこと相談しながら実施してみてもどうか。時に応じてやるといって、地域がどういう感覚やスタンスでいたらいいのか問題になる。

また、そういった指導の内容を自治振興課が承知しているのか？自治振興課は地域づくり協議会にもっと入っていくべきだと思う。ただ、地域でやってこれではできない組織になろうとしており、市の要求についていけない面がある。各課がそれぞれ指導してくると地域も混乱してしまうのでよく調整してほしい。

委員 2ページの市民活動パネル展の目標について、来場者数の増加を目標としているが、達成基準が27年度比だと増加だが、26年度比だと減少となってしまう。これは、前年よりも増加していれば、今後増加していくという考えで設定したのか？

事務局 そのとおりである。今年度は人数が減少してしまったが、それ以上の人数を目標としたい。

委員長 減少した理由についてどのようにつかんでいるか？

事務局 パネル展を実施したららぽーとは、不特定多数の人が訪れる場所であり、パネル展目的での来場者は少ないと考えている。そのため、パネル展示をしている団体が工夫しながら体験コーナー等を実施することにより集客してくれているが、その実施タイミング、日程、時間等の絡みで集客が減ったと考えられる。

委員長 そうすると、フリーのお客さんに対して集客を行っていくところが、平成27年度は26年度に比べ十分でなかったということだとすると、平成28年度は、どういう工夫があると増えると考えているのか？または、なんらかの支援をパネルの作成団体に行うという事が無ければ、特に増える理由もないと思うが。

事務局 たしかにその辺は難しい所ではあるが、人を集める工夫を出展する団体をお願いしていくことと、団体の活動を活発化させる意味でも、もう少し自ら努力してほしいと思う面もあるので、その辺をお互い調整しながら来場者の増加につなげていきたいと思う。

委員長 スキルの問題や手法の問題もあると思うし、呼びかけの時期等の瑣末な問題もあるので、その辺は事務局から支援することで目標に向けて頑張してほしい。

委員 パネル展について、ボランティア連絡協議会では、今年度から参加しており、1回目は簡易的なものを作成し、自分も現地に確認にいった。  
2回目は、パネルを少し工夫して作ったが、現地で団体のPR等を行わなかったのが、のっぴに任せるのではなく団体側も主体的に取り組めればよかったのかなと思う。

- 委員           これは推進委員会だから前に進む事が大前提である。過去からの色々な反省を踏まえていかないと、この委員会で議論するのはごく一部だから進んでいかない。市民満足度などの数字も、それが何を意味しているのか分析する必要がある。
- また、トップダウンで行わないと、係だけや担当だけが理解するようになり、一般の人の認知度が高まらない。
- とにかく過去からの様々な反省を踏まえ進めていくべきである。
- 委員           5 ページ 4 - 3 のボランティア講座は、28 年度の新規の事業になるのか？また、そのボランティア講座の内容について教えてほしい。
- センター長   これは、静岡県教育委員会が実施している青少年指導者の級別認定事業を想定している。現在、市でも中学生を対象とした初級認定の事業を実施しているが、それらの内容を踏まえ、市民活動センターでも実施できるのではないかと考えた。また、県の教育委員会からも働きかけがあった。センターの登録団体の協力を得れば、初級認定の要件である 20 時間のボランティア活動も確保できると思う。湖西市の市民活動センターでも実施しているので問い合わせしてみたが、市で実施しているように大人数で実施するのではなく、少人数から進めたほうがよいとの助言をもらっている。また、初級を取得後に中級へつなげるような、先を見た取り組みもできるのではないかと思う。対象は、市の事業のような 3 年生ではなく、時間的に余裕のある、1、2 年生を対象とすることを考えている。
- 委員長       それで、具体的に何をやるのですか？
- センター長   具体的な内容はまだこれからです。
- 委員長       ボランティア養成講座をやることは決まっているが、その内容はこれからということか？
- センター長   はい、県への申請は新年度になってからである。自分としてはボランティアって何？という所を伝えながら進めていきたい。また、交流センターとも連携していきたいと考えている。

委員 確認だが、市民活動センターの登録団体の活動場所に中学1、2年生を派遣し、さらに交流センターの活動にも参加するということでよいか。

センター長 はい、そうです。

委員長 確認だが、県の級別認定を実施するとの話だが、ボランティア養成講座はボランティアをしにいくだけでよいのか？それともボランティアについて学んだりすることはあるのか？

センター長 学びもあります。社会教育の中での話なので学びも必要だと考える。

委員長 他に何かありますか？

委員 6ページの5-5のインターンシップについて、自分のイメージではインターンシップというと大学生を対象としているイメージがあるが、そういう理解でよいか？  
また、市民活動センターでインターンシップを行うのか、それとも市民活動団体とマッチングしたうえで団体に行ってインターンシップを行うのか、どちらなのか気になった。

センター長 これは、正規のインターンシップではない。これまでは、あるNPO法人にインターンシップを実施してもらおうよう働きかけたり、市で受け入れたインターンがセンターや登録団体で学んだりしてきた。問い合わせがあれば柔軟に対応できるようになっている。対象も大学生に限定しない。

委員長 学生向けではなく、一般市民が市民活動センターや登録団体で活動を行うという理解でよいか？

センター長 はい

委員長 その他になにか。なければ以上で。  
協働のまちづくり推進計画について、平成28年度は目標が明確にされている部分もあるので、それに向けて的確に進めてもらえるようお願い

したい。

続いて、議題の2市民活動フェスタについて事務局からお願いします。

事務局

配布したチラシのとおり、3月19日に市民活動フェスタが開催される。その中で、午前中に協働のまちづくり提案事業の成果報告会を開催し、事業の周知と成果のPRを行う予定。担当課の職員と実施団体の代表者がそれぞれの立場から報告を行う。

センター  
長

12時から市民活動センターが担当する。センター側からすると、この市民活動フェスタ全体が市の担当課との協働事業と捉えており、今年度で3回目になる。ららぽーとのパネル展の拡大版と考えてもらえばよい。フェスタへの出展を通じ、PR手法の工夫など団体側のスキルアップにつながればよいと考えている。

今年度の新たな取り組みとして、団体PRの時間を設ける予定。出展団体は18~19。ヤマハ発動機やトヨペットなど企業の協力も得ている。

委員長

市民活動フェスタについて質問はありますか。

委員

「つながる」ことが目的だと思うが、若い世代も対象としているのか、団体のネットワークを目的にしているのか、チラシをみても見えにくい。

子ども対象に工作をやるようだが、それ以外にも、これなら行ってみたいと思うような、人をひきつける目玉があればよいと思う。一緒に行うことで、団体の活動を体験で知ってもらい、会員募集につながると考える。

委員長

市民啓発と団体交流をいっしょにやっているわけだが、団体交流については、計画内容でも可能だと思うが、市民啓発は本当に可能なのか。軽食販売やウィンドカーの工作教室などを実施するということだが、これまで協働やNPOに関心のなかった市民に来場してもらい、関心をもってもらうための仕掛けをどうするのか、という三輪委員の発言だと思う。2016年の計画は既に決まっているようなので、その結果を踏まえ、市民啓発の部分について検討してほしい。

予定されていた次第の議事もすべて終了した。

そのほか、全般に対してご意見あれば。あるいは、進行について御意見あれば。

なければ、委員長としての進行は終了とし、引き続き事務局の進行を



市民活動  
推進課長

お願いしたい。

委員長、ありがとうございました。御審議ありがとうございました。  
ここからは意見交換の場とさせていただきます。テーマ等は特にありません。日頃から思っていることや伝えたいこと等がありましたらご発言をお願いします。

【意見交換 概要】

「いわたゆきまつり」に実行委員として参加。学生が少ないと感じた。磐田の学生に何ができるのか見えにくい状況。

学生は何があれば集まるのか。何を楽しいと思っているのか。

友達がいれば、集まりやすい。

学生グループに参加を求めても、おじさんおばさんがやっているのは、学生は集まらない。仲間がやっているなら、行ってみようということになる。「『協働』や『NPO』」ということではなく、「サークルでテニスをしています。」などのきっかけで集まっても良いから、磐田のまちを考えるきっかけがあれば良い。

大学生ボランティアには、中学生ボランティアにできないことをしてもらい、助かった経験がある。その後も新しい出会いがあったようで良かった。

地元の大学だけでなく、浜松も近いため磐田に呼べる仕掛けづくりがほしい。磐田の方がワクワクできる仕組みづくり。磐田で友達が増え、磐田らしさが出せたら面白いと思う。学生が頑張っている評判を作っしまえばよい。

どのようにすれば、集客できるか。自分たちだけで考えていてはだめ。相手があつてのこと。若者のまちとして、発信してほしい。

市民活動センターで学生が、アルバイトをしたり、チラシ作りに参加したり、集まる場所になると良い。

このようなことができているところは、何でできているか。その場へ行くと楽しいことがある。それをどのように設定して行くかが大切。

市民活動  
推進課長

協働のまちづくりが始まり 10 年が経過。総合計画が見直され、来年度検討されていく。今の協働の現状はどうなっているか、これからの協働はどうあるべきか、悩むところ。内容について、検証していきたい。委員の皆様のお力添えをお願いしたい。

平成 27 年度第 3 回協働のまちづくり推進委員会は以上を持って終了とさせていただきます。長時間御審議ありがとうございました。

次回は、来年度 1 回目の委員会を 6 月頃予定しています。ご協力をお願いします。